

2011年度日本人会総会



さくら祭り

2012年4月22日慣例の総会をこれまで慣例の美しい沿岸線にある東海大学ヨーロッパ学術センターを会場として持ちました。総会は1年の締め括りになると同時にそれまでの1年の理事会の活動の評価にもなる訳なので理事会としては、緊張する会でもあります。昨年の総会では、翌年の総会までに日本人会会則の改訂版を発表するという宿題が出ました。幸い貢献度の高い会員を抱える会の事ですから、呼びかけに応じてすぐ委員が集まり、会長を含めて5名の会則委員会がスムーズに発足し、当委員会は、4ヶ月に渡って3度2時間ずつの会議を持ち会則改定の作業に入りました。

- ① 20年前の会則は現在の会の文が多い為に、この際全面的に見直す。
- ② 会則と理事会の活動指針が一緒に入っているのを、分けて単一化する。
- ③ 会の活動を縛る会則ではなく、柔軟に動けるような会則にする。

の趣旨の元に非常にすっきりした分かりやすい改定会則が完成しました。改定文は既に総会のお知らせ配達時から全会員に発送し、総会ではすんなり決議されて、何時間も一つの条文に頭を悩ませた会則改定委員はほっと一安心しました。

理事会ではこの総会で会員から合議を得たい件がもう1件ありました。この21年間日本人会は根拠地のない会として存在してきました。他の国のように一般が利用できる日本センターのような設備がない為です。そこに2011年の夏、東京都台東区と姉妹都市関係を結ぶGladsaxe市の文化センターの存在を知り、ここを日本人会の根拠地にできない

ものか、との構想が膨らみだしました。Gladsaxe市でも市長以下日本びいきでその可能性が多分にあるという反応でした。理事会で試みに理事会を当市の文化センターで持ち、センター内の数々の設備の見学した後、総会で提案しました。しかし、21年間根拠地がなかったという自由性が、突然どこかに属する事によって会の行動が縛られるのではないか、という非常に心配な思惑になり、当提案は、クリスマス会をここで実施してみて、その後の決裁は理事会に任せるという用心深い決議にいたりしました。

午後は悪天候の為、屋内で阿波踊りの練習や子ども達のゲームの企画を立てました。阿波踊りは音楽に合わせて手を振りながら前進すれば良いもの、という先入観を裏切って、子どもの時から阿波踊りで育った女子、男子会員の手つき足の踏み出しのきれいな事！踊りが身に付いたとはこの事か！と感動したひと時でした。

和子・マイヤー

- コペンハーゲン桜祭りに行ってきました！
- 4月末、念願だったコペンハーゲンの桜祭りを体験する機会を得ました。
- これまでは、開催地が遠いことに加え、日程が我が家の家族イベント集中の時期に被るため、カレンダー脇にぶら下がるフライヤーを片目に眺めつつ、あきらめていたものでした。それがどうしたことでしょう！今年は私と家族にお声をかけてくださる方々があり(本当のところはちょっと迷っていたのですが)、まるで「さあ、行ってらっしゃいよ」と背中を押されるかのように、ドンぴしゃりで家族5人そろった日程も開き、本当に楽しい一日を過ごすことが出来ました。
- 皆様もご存知のとおり、桜の開花期間は短いですし、そうそう都合よくイベントにあわせて咲いてくれるものでもないのですが、咲きそろった桜、すごかったです！・・・ここは上野公園？と錯覚するような満開の桜と、その下にシートを敷いてお弁当を楽しむ人の海に、私は一気に郷愁感を煽られ、日本の桜の美しさや夏祭りの楽しさを経験したことのあ
- 主人はその時のことを子供たちに語って聞かせ、ここ数年でひらがな、カタカナが読み書きできるようになった子供たちは、もう、そわそ





シニアの会

わしっばなしで、大変なことになりました。どうも、みんなで舞い上がってしまい、会話がかみ合いません。私はお昼ごはんの相談をしたいのに、子供たちは露店めぐりをしたいし、お父さんは催し物の時間が気になって…。ともあれ、主人はなんとか好物のうなぎの蒲焼にありつき、姉妹はラムネを堪能し、長男は念願の木刀をゲット、みんなでマンガグッズのお店であれこれ悩み、お習字のおじさんとお話をして、着物ショーに見蕩れ、折り紙を指導してもらって、戦装束の人やチョウジや銀さんのコスプレの人と写真に納まり。。なんて忙しい!! いえいえ、充実した一日でした。

楽しいだろうな。。と、想像はしていたものの、こんなに家族そろってみんなで楽しめるイベントだったとは! うれしい誤算とは、このことでしょうか。長男は、もう、来年も行くつもりです(しかし、長男よ、来年はキミの堅信礼式と被るのでは。。?。でも、そのキモチ、良くわかるよ)。私も家族も、毎年は難しいかもしれないけれど、機会さえあればまた行きたいね! と、うれしい気持ちばかりの一日でした。このような僥倖をかなえてくださった方々へ、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

ユラン会員 AS



● 今月は、丁度研修旅行でデンマークにいらした4名の青年介護士リーダーの方達をご招待しました。何年もデンマークに住んでデンマークの夏は暑いとは限らないと分かっているのに、6月となると外に行きたくないこの習性。日ごろの行いが悪かったのか、この日はどんより空で薄寒く、「お天気がもう一寸良かったらなー、」といういつもの文句の中、それにもめげず、美味しいお弁当を食べて、おしゃべりにゲームにと KongensHave で楽しい時間を過ごした後、更に街のカフェに入っ

シニアの会に出席して

● 出席されていた方々からは、移住後のご苦労もあったと想像できますが、それは微塵も感せず、異国の地で生活している逞しさや力強さを強く感じました。幕の内弁当以外にも、我々がパワーをもらったように思います。

● 初対面の我々と気さくにお話いただき、会話の中では日本のことを楽しそうに話されている姿に、やはり日本人はどこにいても日本人だと感慨深いものがありました。

● また、体操やゲームを思いつきで行ったにも関わらず、お付き合いいただき、「だるまさんが転んだ」は我々も何十年ぶりで、童心に帰り楽しい時間を過ごすことができました。

● 日本に戻り、慌ただしい時間を過ごしてありますが、同じ時間にデンマークで逞しく生活されている方々がいると考えるだけで、不思議と温かな気持ちになり、負けずに頑張ろうという気持ちが湧いてきます。

● 社会福祉法人こうほうえん
田中俊介、松本健太郎
松本竜太、安達淳

鹿公園でのピクニック

バッケンでだるまさんが転んだ

一年間デンマーク日本人会のメンバーであった私は始めてイベントに参加して、とても楽しい一日でした。知らない人が多かったので、最初は少し緊張していたのですが、バッケンの芝生の上で美味しい日本のお弁当を食べ始めたら、すぐ落ち着くことができました。食べた後、「だるまさんが転んだ」というゲームで楽しもうという声がありましたが、してみたら、誰もルールをうまく覚えていなかったもので、みんなで特別のルールを作りました。恥ずかしながら、私は一番駄目な人で何回も何回もだるまさんに見られて捕まえられてしまいました。しかし、笑うのをやめられませんでした。その後ほかのゲームもしました。久しぶりに仕事から離れて、笑いながら、体を動かすことができ、とてもよかったです。

ギテ・ハンセン

